

1 オアシス応援地球志民学校の開校について

(本事業の概要は別紙)

◆日程・内容の課題

◆課題としての参加者募集

- ・法人パンフレット配布
- ・法人ホームページの閲覧
- ・個人的勧誘(人間関係の構築)

◆別紙5の②「市民交流会」への発展を位置づける

2 社会貢献活動の推進について

① SDGs推進活動「海の豊かさを守ろう」(ジャパンジャスティシ主催)

5月8日(8名参加) 6月26日(7名参加) 10月16日予定(西浦)

② 社会貢献活動予定

3 カンボジア訪問報告会(報告者：石川桂氏) ※6月16日中日新聞西三河版記事参照

① カンボジア支援活動の経緯(概略)

② 質問事項について

ア カンボジア出入国状況(コロナ感染対策とコロナの影響)

イ 支援の対象校と支援の内容

- ・支援の対象校の選定
- ・学校所在地の地域の様子
- ・支援の具体的内容
- ・支援のための資金

ウ 支援の成果

- ・支援の間で変わってきたこと(学校、地域)
- ・思い出に残ること、考えさせられたこと

エ これからの取り組み

③ オアシスのカンボジア支援活動への見通し

その他

≪予定：8月定例役員会≫8月28日(日)15:00 於：小江公民館

## オアシス応援地球志民学校「ようこそ地球志民 羽ばたけ未来へ」

### 1 事業計画立案にあたって

コロナ感染の収束傾向を受け、各国の渡航制限が解除されつつある昨今。令和4年度の新年度にあわせて多くの外国人青年の入国が顕著である。本法人社員山本克仁氏が講師を勤める日本語学校でも150名の入校者があると聞く。多くの若者たちがそれぞれの「志」を遂げようと日本語習得に期待をかけ、日本での新生活をスタートさせている。

このような背景を踏まえ、彼らの応援隊として、これから遭遇するであろう種々の問題を少しでも取り除き日本語習得に専心できるような応援体制づくりを目指す。

### 2 本年度事業のねらい

オアシスと日本語研修生(技能実習生)及び研修生同士の交流を図り、励まし助け合う仲間の関係づくりを目指す「オアシス応援地球志民学校」を開校する。

### 3 開校の日程と内容

日時 9月18日(日) 10:00~14:30

場所 蒲郡荘(蒲郡市港町21-4 0533-68-2188)

参加者 蒲郡市内日本語研修生 豊橋日本語学校生 オアシス会員 40名程度

※フィリピン・ベトナム・バングラディシュ・インドネシア・ネパール国籍者等

内容 10:00 蒲郡荘2F 大島 開校・紹介交流「オアシス紹介、自己紹介色紙作り」

10:40 実技・実験交流 「みんなで挑戦 マジック&サイエンスの不思議」

11:15 母国好きな歌日本語挿入歌

12:30 BBQ 昼食(感想交流)

14:30 閉校

### 4 参加者の募集

本法人社員関係の日本語研修生(技能実習生)等から第1期生(20~30名)を選抜する。

- ・選抜に当たっては、本法人社員の日本語指導受講生から選抜する。
- ・参加研修生の費用(交通費・昼食代・材料費等)は全額オアシスが負担する。

### 5 「オアシス応援地球志民学校」の発展について

①本会参加者より、日本での生活モニターとして5人を選抜し、年2回の広報オアシスへの原稿(100字程度)投稿を依頼する。原稿料10,000円を予算化する。また、相談ごとへの対応窓口を設けたり日本文化、生活情報を提供したりするなど、研修生・実習生への応援体制の拡充を図る。

②地域貢献活動交流会「人生に拍手を」開催予定(兼:写真展)

日時 12月17日(土) 13:00~16:00 於:蒲郡商工会議所

目的 球志民応援団としての取り組みやその他SDGsに関する活動内容を一般市民へ報告し、社会貢献活動啓発に資する。